



いいで町

153号

議会だより



心なごむ満開の桜

3月議会(第3回定例会)

☆地域経済の活性化事業に充てるため・・・

「元気臨時交付金基金条例」を設定

☆雇用拡大・地域防災力など2議員が町政をただす

3月議会定例会概要	P2～3
施政方針、総括質疑	P4～5
予算特別委員会	P6～9
一般質問	P10～11
条例設定、改正	P12
人事、各会計補正予算	P13
各常任委員会	P14
臨時会、表彰	P15
特別委員会・基本条例概要・編集後記	P16

平成26年3月第3回 定例会概要

平成26年3月定例会は、3月4日から14日までの11日間の会期で開催されました。本定例会では、平成26年度各会計予算15件をはじめ、条例9件、補正予算17件、人事案件3件及びその他7件の51案件について審査しました。うち1件が取り下げられ、ほかは原案のとおり可決、承認しました。

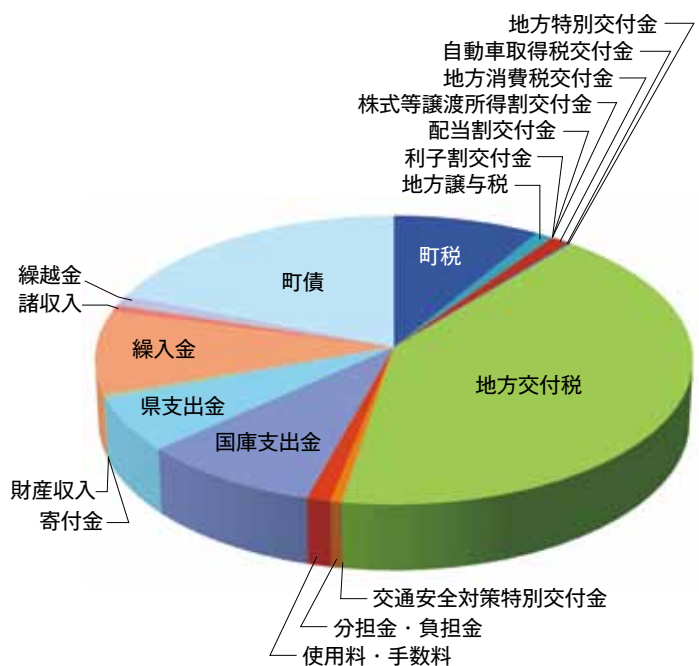
平成26年度予算は、一般会計が67億9300万円前年度比18.9%増、特別会計及び企業会計を合わせた予算総額は105億8240万円で、15.5%の増となっています。

性質別予算額

歳入

(単位：万円)

項目	予算額	割合(%)
1. 町税	5億8615	8.63
2. 地方譲与税	6900	1.02
3. 利子割交付金	120	0.02
4. 配当割交付金	80	0.01
5. 株式等譲渡所得割交付金	20	0.00
6. 地方消費税交付金	7500	1.10
7. 自動車取得税交付金	1000	0.15
8. 地方特別交付金	160	0.02
9. 地方交付税	28億2537	41.59
10. 交通安全対策特別交付金	160	0.02
11. 分担金・負担金	3764	0.55
12. 使用料・手数料	8096	1.19
13. 国庫支出金	6億1109	9.00
14. 県支出金	4億1394	6.09
15. 財産収入	1118	0.16
16. 寄付金	1000	0.15
17. 繰入金	6億3888	9.40
18. 繰越金	5000	0.74
19. 諸収入	7919	1.17
20. 町債（町の借金）	12億8920	18.98
合計	67億9300	100



平成26年度 主な事業計画

総務企画課関係

☆コミュニティ

助成事業
250万円

☆地域づくり推進事業
720万円

☆地域エネルギー循環システム整備事業
148万円

☆基幹業務システム構築事業
3873万円

☆消防関連事業
2億3727万円

☆空き家対策事業
1337万円

☆環境衛生・清掃事業
9380万円

☆第一小学校改築工事
10億7864万円

☆手ノ子小学校耐震補強工事設計業務委託
702万円

☆つばき保育園
1500万円

☆屋外運動場整備工事
2億1795万円

☆アmend交通
1380万円

☆運行事業
2028万円

☆重度心身障がい(児)者医療給付事業
3400万円

☆青年就農給付金事業
1125万円

☆優良黒毛和牛繁殖増進補助金
100万円

☆生産振興助成事業
301万円

☆配食サービス事業
1405万円

☆林地残材集積強化事業
47万円

☆6次産業化推進事業
879万円

☆雇用対策事業
8226万円

☆町道新設改良等事業
2億1798万円

☆除雪・除雪機械購入事業
3200万円

☆水源開発調査事業
2億1795万円

☆健康福祉課関係
1405万円

☆健康診断事業
301万円

☆配食サービス事業
301万円

☆健康診断事業
1405万円

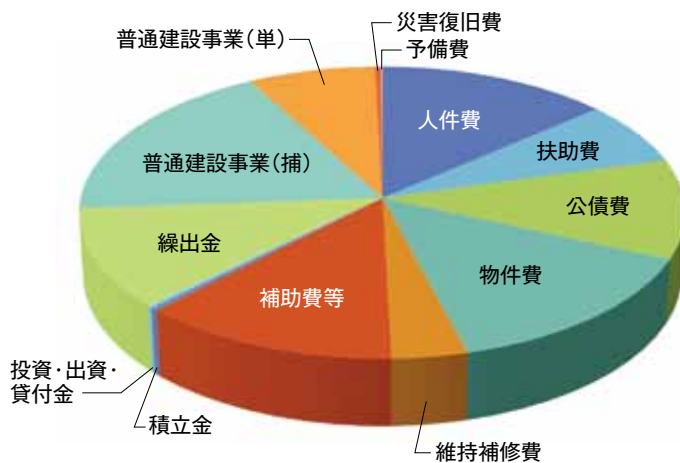
☆配食サービス事業
301万円

性質別予算額

歳出

(単位：万円)

項目	予算額	割合(%)
1. 人件費	9億2665	13.64
2. 扶助費	4億4045	6.48
3. 公債費 (借入金返済)	7億4975	11.04
4. 物件費	9億6360	14.19
5. 維持補修費	2億4971	3.68
6. 補助費等	8億9477	13.17
7. 積立金	2465	0.36
8. 投資・出資・貸付金	1500	0.22
9. 繰出金	7億5218	11.07
10. 普通建設事業 (補)	12億3875	18.24
11. 普通建設事業 (単)	5億766	7.47
12. 災害復旧費	2483	0.37
13. 予備費	500	0.07
合計	67億9300	100



施政方針

将来を描く力

地域社会を動かすとは

飯豊町長

後藤 幸平



人、それぞれの夢と希望が満たされる、地域社会を形成するまちづくりが重要であります。

成長から成熟、農村自給圏の充実、里山の活性化と国際化の成果で、地方の活力回復がもたらされます。若者に地方定住への強い意志、覚悟を喚起するように

予算を編成しました。

す。先人達より受け継いだ住民参加がまちづくりの指針とされていることから、地域力向上のため地域住民が自ら実施する活動への支援を推進していきます。

「飯豊・農の未来賞」の創設

「日本で最も美しい村」連合から再認定

土地利用型作物の新たな栽培技術や農業政策に関する企画など、提案型論文を募集し新たな農業に取り組み、農業振興を図っていきます。

ないよう万全の態勢でのぞみ、県内外に誇れる学校づくりをめざします。

第一小全面改築工事の実施

平成27年度の完成を目指し、校舎及び体育館の改築工事に着手します。学校生活の身近な場所での解体、新築工事を実施することから、児童の安全確保に配慮し、生活に支障のないよう万全の態勢でのぞみ、県内外に誇れる学校づくりをめざします。

計画策定の年でありま

むすびに

す。必要とする方への適切なサービスの提供に努めるとともに、健康で元気に過ごしていただくと思います。必要とする時期を少しでも遅くするために「各種サロン」活動や健康づくりに努めていきます。

常に内外の情勢変化を敏感に捉え適切な対策を講じ、迅速かつ的確に対応していきます。無駄をなくし行政経費を削減することは当然であり、だれの為の行政か、職員全員が認識し、期待に応える公正な運営に努めてまいります。



農の未来賞受賞

将来にわたって美しい地域でありつづける活動を展開していま

「第6期介護保険事業計画」にむけて

本年は第6期の事業



よりよいサービスを

総括質疑

住民をどう導くのか

菅野 富士雄 議員



問 躍動するまちづくりを提唱。未来につなぐ、今年度の基本方針は。

返還、基金運用への影響は。

町長 「住民自治」の意識回復のためにも、自ら行う「協働」の取り組みを推進します。

地域づくり推進事業など、住民参加型の施策が町内外から高い評価をうけています。課題を共有し、解決へ向け、手を取りあう事業を進めていきます。

問 久方振りの大型予算、町民税が減収し、地方交付税の削減がさ

問 中小企業振興政策

町長 基金の積立総額が5年前より、12億7千万円ほど増加しています。ただ今回の、予算編成では第一小の改築や工業振興助成、橋梁長寿命化などで前年比18・9割増加となりました。公債費はピーク時の16年度と比較し40億2千万円減少し、26年度末残高は63億3千万円となる見込みです。



地域づくり推進事業の補助で

2年次を迎えるがどう展開するのか。

町長 3年計画の中間年となります。立地条件（豪雪地帯）が不利

件（豪雪地帯）が不利

問 「強い農林水産業」を創造とは。国は大きく農政の舵を切った。国・県の制度を農業者に、間違いないように周知すべきである。新しい日本型直接支払制度をどう展開するのか。

した。

しかし、今回の制度は、農業者のみで構成する活動組織も対象となりました。未取り組み地区には、制度内容の説明会を開催し積極的に導入されるようになります。

であり、設備投資への支援策として、雇用創出を見込み新たな産業起こしにつなげていきます。

町長 3年計画の中間年となります。立地条件（豪雪地帯）が不利

件（豪雪地帯）が不利

町長 今回の基となった「農地・水管理支払交付金」では町内35ヶ所、面積的には約7割で取り組まれております。残りの3割の地区は、地域住民を含む活動組織が対象であったことから、農業者が少なく取り組めませんで



委員会

総務文教所管分



予算特別委員長
嶋貫栄助

平成26年度一般会計、特別会計13件及び水道事業会計あわせ15件について、予算特別委員会を設置し審査しました。
委員長に嶋貫栄助、副委員長に長沼桂子の両委員を選任し、3月11・12日の2日間にわたり慎重かつ活発に審査を行い、いずれも全員一致で認定すべきものとなりました。

一般会計

人件費の抑制策は

長沼(桂)委員 人件費が総額10億237万円で税収の1.71倍。職員も2名増員され、上級職の採用も実施していることから人件費の占める割合が更なる多くなる。今後、定員管理と人件費の削減に努めるべきでは。

総務企画課長 定員管理と人件費の抑制については関連性が強いものです。

業務に見合った職員の配置や民間委託業務に関する定員管理については、第4次町行財政改革大綱に記載している事項であります。人口や財政規模が町と同じような類似団体

と比較も行い、今後も定員管理適正化計画に沿って行政運営を行う事により、適正な人件費管理を行っていきま

飯豊分校の解体計画は

長沼(安)委員 飯豊分校校舎解体の具体的な内容と記念事業などは。

総務企画課長 飯豊分



解体される飯豊分校

校は木造で老朽化が激しく耐震性も保てないことから、総事業費4455万円に対し、

県から2515万円の補助で、周辺に住宅があることや、住民の方々や通学路に安全対策を講じ、降雪前に解体する予定です。学校後援会や分校運営に関わりのある方々を中心に実行委員会を組織してもらい、メモリアル行事などを開催するための経費30万円も含めて計上しております。

予算特別

天文台の利用拡大を

鈴木委員 天文台の活用は、町民や小中学生など幅広く利用してもらったのが設置目的であり、今後の利用拡大は。

スキー場の運営状況は

山口委員 手ノ子スキー場運営事業で290万円増額となった内容と、今後の見通しは。

国民全てに

番号制度の導入は

後藤委員 番号制度に対する国の補助金額と、番号の活用内容は。

総務企画課長 税と社会

保障制度の改革に関連して、国民全てに番号を付し、税や医療、年金などの社会保障制度を管理するための番号制度が平成28年度から導入されます。

コンピュータによる

データ管理のため、平成26年度から全国市町村で国が定めた統一基準により、システムの構築作業が開始されます。

今年度は住民基本台帳や税務関係のシステムの構築に要する経費859万円が国から補助されます。

今年度は住民基本台帳や税務関係のシステムの構築に要する経費859万円が国から補助されます。

総務企画課長 前年度ふるさと納税は1200万円を超える状況です。1人あたりの平均

ふるさと納税

ホームページでも

菅野委員 ふるさと納税寄付金は何件見込んでいるか。

納税額が1万円です。で約1200人の方に関心を持っていただいたことになりました。 新年度では納税特典である町の特産品の内容を更に充実させ、税の優遇措置も含めホームページを更新し、また来町に結びつくような手法も検討していきます。



ふるさと納税者に特産品を



星空を案内する天文台

委員会

産業厚生所管分

一般会計

プレミアム商品券
発行の効果は

鈴木委員 具体的な発行金額、期日等内容はどうか。商店及び消費税増税に向けた町民への支援として有効だと思われるがどうか。

商工観光課長 プレミアム商品券については、すでに事業として10年以上が経過し、町内の雇用を喚起し既存商店の育成を図ることが本来の目的です。また、問題点などを検証しながら、新たな取り組みも含めて関係者とともに検討してまいります。

体験農園の委託は

長沼(桂)委員 体験農園(中津川宇津沢)の委託料として211万円あるが、どのような内容なのか。十分な管理はされているのか。

商工観光課長 体験農園については、農園の区画と施設があり日常的な施設の管理、光熱水費、通信費等の経常経費を含め委託料として計上しています。また、管理については、指定管理者が利用料をいただき管理するわけですが不十分との指摘をいただきましたので、指定管理のあり方と契約について十分検討してまいります。

農業政策の改革
見通しは

菅野委員 農業政策の改正が行われるが、市町村単位での農地集積と日本型直接支払制度の内容は。

農林振興課長 市町村単位での農地集積については、国の運用がまだ詳細になっていないこともあり、県の中間管理機構が動き出すのが7月1日からとなっています。実施は、各市町村ですが、町になるのか、農協などに委託するか詳細が明らかになっていません。

日本型直接支払制度には、農業の多面的機能を支える共同活動を支援する農地維持支払

で、畦畔・農道の草刈り、用排水路の泥上げがあります。

また、地域資源の質的向上を図る共同作業を支援する資源向上支払いで、水路補修等の共同作業や花いっぱい運動などがあります。

町の景観を保ちながら、農地の保全という面でも積極的に取り組んでいきます。

6次産業化の
推進事業とは

山口委員 6次産業化推進事業の中の729万円の使途内容は。

商工観光課長 都心部(杉並区高円寺)における拠点づくりとして

飯豊事務所・飯豊学校を開設するため旅費17万円、使用料及び賃借料378万円などを予定しています。一人配置しながら運営していきます。

山菜をはじめアスパラなどの特産物の販売や、都市と農村の交流を行いながら飯豊町よさを発信し、地域振興をはかります。

また、農協青年部が以前から取り組んできた稲作指導などを通じ、農の勉強を主体にしながら商店街での稲や野菜、花などの栽培実習、町内での農業体験などで交流を深めたいと考えています。

予 算 特 別

ペレットへの
補助が必要では

長沼(安)委員 今、灯油が値上がりし、ペレットストーブが普及している。今後、ペレットが値上げされれば普及も進まなくなるのでは。

農林振興課長 これまで木質バイオマスの普及を図るということでペレット燃料については低価格に抑えてきました。消費税と配達込みの価格ですので原価割れしているというのが現状のようです。単価の見直しを図る方向ですが、普及を推進するという観点からエコポイント制度で今後も支援していきます。

観光イベント
推進事業は

後藤委員 山形ディスプレイネーションキャンペーン(以下「DC」)が開催されるが、観光イベント推進事業の内容は。

商工観光課長 観光イベント推進事業としては、DCで誘客するための「のほり・ワッペーン」購入やスタンプラリー、フォトコンテスト等により飯豊を知ってもらう取り組みです。さらには、DC開催以降も継続的な誘客を進めるため、交通手段が必要であり車両賃貸料等です。

特 別 会 計

新たな水源確保の
調査は

菅野委員 新たな水源確保に3200万円を試験調査費として予算計上されているが、水量・地域への影響及び利用計画は。

地域整備課長 異臭問題から別の水源地を確保する目的で調査するものです。長井市との隣接地でもあるので十分な周知を行いました。現在、配水量(萩生配水池)は、200トン/h必要で渇水期には150トン不足します。電気料などを考慮し、水道料金は維持したいと思っています。

第6期の
介護保険料は

長沼(桂)委員 第6期の介護保険事業計画が26年度中に策定されるが、24・25年度の借入金もあり、保険料は相当高額になると思うが見通しは。

健康福祉課長 介護保険事業会計で支出していたものを、26年度予算では老人福祉対策ということで一般会計に移行したものもあります。しかし、借入金も6期で返済しなければならぬことから、大変厳しい状況になると考えられます。



新たな水源を求めて

一般質問

望まれる攻めの運営を



鈴木敏夫議員

- 人口減少社会の対応について
- 交流人口を増やすための取組みは
- 地域資源を活用した雇用対策は
- 農政大転換・飯豊の農業政策は
- 土曜授業と全国学力テストについて

質問 人口減少社会の対応は。

集落機能を維持する
支援体制を検討

町長 一つは、住宅地造成と子育て環境の充実、さらに、集落支援員などの制度導入を視野に入れ、機能を維持するための体制を検討します。

質問 交流人口を増やすための取組みは。

「域学連携」の
展開を推進

町長 大学の教員や大學生を地域に迎え、地域の住民やNPO等とともに地域課題解決や人材育成に資する地域実践活動「域学連携」を実施します。

質問 地域資源を活用した雇用対策は。

農都交流活動を支援

町長 交流と特産品販売の両輪がみあうことにより雇用の方も生まれると考えています。定期的情報交換会を行っている農都交流推進研究会などの活動を支援します。

質問 農政大転換・町の農業対策は。

6次産業化の
取り組みを展開

町長 町内産の農産物と地域資源などを生かして、高付加価値を促した6次産業の取り組みを展開します。これを受けて「人・農地プラン」を充実し、農地の集積化を推進します。

質問 土曜授業と全国学力テストの状況は。

学力向上委員会を
設置

教育委員長 土曜授業については、今後慎重

に検討します。次に全国学力テストの結果については、満足出来る結果ではありませんでした。「学力向上委員会」設立のための準備委員会を立ち上げたところです。

ゆめふくらむ飯豊町



一般質問

地域防災力の向上を



後藤 恵一郎 議員

質問 東日本大震災から3年。防災・減災に対して自主防災組織率の現況と向上に向けた取り組みは。

自主防災

組織率は77割ト

町長 現在、28組織、約77割の組織率で県平均81・3割までは至っていません。

現状としては、特に30世帯未満の集落が組織化に至らない状況です。

防災組織の内容を理解していただき、地域の実情に合わせた指導助言、説明会や勉強会

等を開催し立上げを後押しします。

質問 消防団の強化と地域防災体制の強化は。

消防団の強化を図る

町長 消防団は、常備消防とともに円滑な火災、災害対応が即時に可能な機関であり、消防団の強化については次のように取り組みます。

・団員の確保

現在422人、条例定数の450人の確保を推めます。

・装備品

ヘッドランプ、安全

靴、防塵メガネ等の個人装備品を充実します。防寒対策としてジャンパーやコートの貸与。
・処遇の改善
団員報酬単価を見直します。

また、地域の状況を詳細に把握できる消防団と自主防災組織の連携を図ります。災害発生時には、正確な情報
が早期に行政側へ届き、適切な対応が出来るよう定期的な訓練をしていきます。

質問 学校教育、社会教育での防災学習の取り組みは。

連携した防災教育を

教育委員長 各小・中学校において、児童生徒の安全確保を図るため、各校の実態や地域の特色に合わせた取組



自主防災組織の訓練

みを行っています。また、消防署の協力と指導をいただき火災地震、積雪期の災害等を想定した避難訓練を計画的に実施し、身を守るための知識や行動
について学んでいます。今後、学校の安全計画、危機管理マニュアルの定期的な見直し、実効性のある避難訓練や学習を進めていきます。

条例の設定及び一部改正

新たな条例

- 飯豊町災害弔慰金の支給及び災害援護資金の貸し付けに関する条例
- 飯豊町高齢者介護予防施設の設置及び管理に関する条例

● 飯豊町地域の元気臨時交付金基金条例

国より交付される地域の元気臨時交付金を活用し、地域経済の活性化に資する事業の財源に充てるため設定するものです。

災害弔慰金の支給等に関する法律の一部改正に伴い、災害弔慰金の支給対象となる遺族の範囲に兄弟姉妹を加え、支給対象者を明示するものです。

● 飯豊町観光レクリエーション公園条例

消費税の税率改正に伴い、入園料及び使用料を改正するものです。

● 飯豊町議会基本条例 (P16に概要記載)

● 飯豊町福祉事業所の設置及び管理に関する条例

障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援する法律の一部改正によるものです。

一部を改正する 条例

● 飯豊町特別職の職員の給与に関する条例

飯豊町鳥獣被害対策実施隊設置に伴い改正するものです。

● 飯豊町障害程度区分判定審査会条例

「障害程度区分」を「障害支援区分」に改めるものです。

取り下げられた 条例

● 財産の交換、譲与、無償貸与等に関する条例

町長の裁量が大きく議決案件にならなくなり、議会で申し入れし取り下げられました。

ゆり園入園料 (改正後)

区分	金額	備考
大人	610円	
子ども	200円	小・中学生

使用料 (改正後)

施設の名称	区分	金額	備考
どんでん平ゆり園 レストハウス	1日	3,540円	半日とは4時間以内をいう。
	半日	1,850円	
どんでん平ゆり園 特産品売店	1日	540円	
	半日	280円	
どんでん平ゆり園 土産売場	1日	520円	
飯豊岳谷親水公園	個人及び団体 当たり1泊	1,080円	団体の単位は5名以内をいう。



利用しやすいゆり園に

人事

中津川財産区
管理委员会委员

次の方々を管理委員
に同意しました。

監査委員

次の方を監査委員に
選任することに同意し
ました。

氏名 鈴木 博文 雄
住所 飯豊町白川

氏名 高橋 亮
住所 飯豊町白川

氏名 高橋 憲 策
住所 飯豊町高造路

氏名 五十嵐 文 雄
住所 飯豊町白川

氏名 山口 八 郎
住所 飯豊町宇津沢

氏名 丸山 茂
住所 飯豊町小屋

氏名 伊藤 重 徳
住所 飯豊町下屋地

住所 飯豊町添川

氏名 茂 木 栄 子

次の方を人権擁護委
員に適任と認めました。

人権擁護委員

次の方を人権擁護委
員に適任と認めました。

氏名 丸山 茂

氏名 伊藤 重 徳

平成25年度 各会計補正予算

会 計 別	歳入・歳出 増減	予算総額
一般会計	(第11号) 9,131万円を減額	59億 491万円
	(第12号) 3,486万円を追加	59億3,977万円
国民健康保険 特別会計	事業勘定 (第5号) 2,909万円を減額	8億5,623万円
	直診勘定 (第5号) 1,617万円を減額	1億2,298万円
後期高齢者医療特別会計 (第4号)	227万円を減額	7,977万円
介護保険特別会計	(第5号) 4,659万円を追加	10億8,982万円
	(第6号) 財源の変更	
訪問看護特別会計 (第2号)	80万円を減額	1,671万円
介護老人保健施設特別会計 (第5号)	249万円を減額	3億 501万円
物品調達特別会計 (第2号)	85万円を追加	1,859万円
農業集落排水 特別会計	(第4号) 3,039万円を追加	6億6,887万円
	(第5号) 繰越明許費の変更	
生活排水個別処理事業特別会計 (第2号)	2,095万円を減額	3,818万円
各財産区特別会計	萩生 (第1号) 18万円を減額	23万円
	豊原 (第1号) 9万円を減額	22万円
	添川 (第2号) 94万円を減額	739万円
	中津川 (第1号) 81万円を減額	577万円
水道事業特別会計	収益的収支 (第5号) 51万円を減額	2億1,755万円
	資本的収支 (第5号) 300万円を追加	5,611万円

各会計補正予算

一般会計補正予算の主なものは、地域の元氣臨時交付金基金積立金に1億4千万円を追加
積立てするものです。

また、国民健康保険特別会計補正については、主に保険給付費の減額によるものです。

総務文教常任委員会

各課からの報告

総務企画課

◆日本で最も美しい村連合の再審査が行われ、再び認定されました。

◆庁舎の耐震診断を調査中ですが、3月22日正式に補修の経費も含め、報告を受けます。

◆総務省から本町消防団へ発電機等の資機材の貸与を受けました。

住民税務課

◆荻生駅近くの民家で灯油漏れ事故が発生しましたが、下流に流れず、その日に中和処理を完了しました。

教育委員会

◆本年度の中学校卒業生は81名で、全員が進路を決定しました。

質問と答弁

問 コンビニ収納実施により収納率はどうか。

答 最終収納率はまだ分かりませんが、納期内納付が10割程度上がっているようです。

問 空からの救助の際、防災拠点施設の屋根に目印を付ける必要は。

答 現在、地形、建設物や現場を空から認識できない状況にあるので、表示のあり方を含めて防災計画の中で検討していきます。

産業厚生常任委員会

各課からの報告

農林整備課

◆全国育樹祭の前日、本町を会場に全国育林交流会が開催されます。

商工観光課

◆事業停止していた日本ワイヤリング(株)工場跡地で、川西町の若松工業(株)が操業します。

地域整備課

◆農業集落排水事業の進捗率は添川が54割、手ノ子が13割です。

質問と答弁

問 転作産地交付金を交付すると農家に説明しているが、予算の議決はまだでは。

答 予算の議決を得ないまま説明してしまいました。今後は事前に協議します。

問 診療所の内視鏡の活用は。

答 設置している機器は、来年度以降も活用していきます。

問 「人・農地プラン」に入っていると、優遇措置される点があるので、全農家が入るような指導は。

答 「人・農地プラン」は5年後の農業のあるべき姿を計画するものです。今後、全戸加入するよう推進します。



美しい村に再認定された景色

臨時会(平成26年)

第1回臨時会

第1回臨時会が1月28日開かれました。消費増税に伴い町設置の各施設設置及び管理に関する条例の一部改正など、34案件が上程され、慎重審議の結果、33件を可決し、1件を否決しました。否決した条例は、観光レクリエーション公園(ゆり園)の使用料改正案で、子供料金を倍額とするなどの案は、国が消費税改正に伴う便乗値上げをしてはならないとして、注意を呼びかけていることにあたるとして、賛成1人、反対7人で否決したものです。

第2回臨時会

第2回臨時会が去る2月10日開かれ平成25年度一般会計補正予算(第10号)が上程され、原案どおり可決しました。この補正は道路等除排雪事業費及び中学校内部修繕工事合せて、3916万円追加し、財源として地方交付税を充てるものです。

第4回臨時会

第4回臨時会が3月25日開かれ、平成25年度一般会計補正予算(第13号)が上程され、原案どおり可決しました。高峰地区過疎集落等自立再生対策事業補助金1100万円などを追加したものです。



春待ち 福寿草

置賜地方町村議会議長会自治功労表彰



飯豊町議会から3名の方が自治功労の表彰を受けられました。

山口文隆	10年5月
中村仁一	10年5月
後藤惠一郎	10年5月

議会刷新特別委員会報告

基本条例に沿って積極的に

設置の目的

議員の役割を明確にするため、議会基本条例を制定するなど、町民とより密着した活発な議会運営を図ることを目的に設置。

審査期間

平成25年6月10日から26年3月14日まで。

委員会の構成

議長を除く全員で構成し委員長に長沼桂子、副委員長に後藤恵一郎、小委員会委員に菅野富士雄、鈴木敏夫を選出しました。

基本条例の制定

小委員会9回、本委員会8回を開催し、条

例の構成や条文について調査研究を重ねました。

また、先進地として、河北町議会を訪問し研修も行ってきました。議会関係の条例や規則、運用例及び申し合わせ事項との整合性を検討した結果、一部改正の必要性も認め、条例の制定を同時に、議会に提出することになりました。

さらに、町のホームページや、各種会議で条例の説明を行い、広く意見、情報等を求めました。

審査の結果

地方自治法の改正に対応することや、より開かれた議会を目指すため、基本条例は必要だと委員全員一致で決定しました。

まとめ

基本条例が制定されたことだけでは議会の刷新が図られたことにはなりません。各議員が条例に沿った活動が積極的に進めていくことが大事であることを確認し、委員会を解散しました。

飯豊町議会基本条例の概要

町長等への逆質問権を

町と議会の立場を明確にし、住民参加による豊かで明るいまちづくりに貢献することを定めた条例です。

その内容は、町民の多様な意見を把握し、町政に反映させることや、議決・説明責任の

必要性を定めています。また、全ての会議を原則公開とすることをしました。

さらに、町長等が議員の質問に対し、逆に問いただすことができるとも決めました。



編集後記

定例会、臨時会3回分の広報の原稿を作成しながら、新しい飯豊町議会を感じました。提出された議案は全て可決していたものが今回は否決あり、取り下げありでした。

議会基本条例も制定しましたので、しっかりと町民の目線に立ち今後は是々否々で審議していきたいものです。

(長沼桂子記)

発行責任者

議長 中村 仁一

委員長 長沼 安義

副委員長 菅野富士雄

委員 長沼 桂子

山口 文隆

中村 仁一

飯山 清一